

事業区分
金銭給付

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	芸術・芸能支援育成				所管	文化産業観光部 文化振興課		
	行政計画	事業NO.	56	計画事業名	芸術・芸能支援育成			
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (2) 新たな文化の創造と発信 [施 策] ① 新たな文化の創造				事業の開始・終了年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	アートアドバイザー会議設置要綱、台東区芸術文化支援制度実施要綱				
	事業対象	若手及び先駆的な芸術文化活動を行う芸術家や芸術団体、区民						
	事業目的	文化政策への芸術家等の参画及び若手や先駆的な芸術文化活動を行う芸術家等の支援・育成を行い、台東区の文化力の更なる向上を図る。						
	事業内容	分野の異なる芸術家や専門家等で構成される「台東区アートアドバイザー会議」を年4～5回開催し、台東区が行う芸術支援の方向性などを検討していく。また、台東区の文化力の更なる向上を図るため、毎年7月から3月末までに区内で実施される先駆的な芸術文化活動に対する支援を行う「台東区芸術文化支援制度」を実施し、芸術家等の支援及び育成を行う。						
	委託の有無	一部委託	委託内容	台東区芸術文化支援制度PR用チラシ・ポスターデザイン 芸術文化関連施設情報ウェブサイトの保守管理				
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	支援対象企画件数	件	-	5	4	6	
	成果指標	(芸術文化関連施設情報WEBサイト閲覧数)	件	5,000	-	-	-	
	決算額 (単位：千円)				4,115	4,127	4,340	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			9,777	6,416	11,592	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			460	507	764	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			3,656	3,621	3,577	
		総経費			13,893	10,544	15,933	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			13,893	10,544	15,933			
前回評価から改善した事項	芸術文化支援制度への助言・支援に限らず、アートアドバイザー会議の場を活用し、文化プログラムの策定や映画祭・演劇祭の見直し等、本区の文化行政に関する新たな展開等についてご意見を頂戴する場を設けた。また、新たな芸術家等への支援・育成として、区内にある芸術文化に関する施設の情報を確認できるウェブサイトを開設した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	先駆的な芸術文化活動への支援は、区の文化力の更なる向上のため重要であり、中心事業である支援制度は、毎年一定の申請件数で推移している。また、先駆的な芸術文化活動への支援は営利目的の民間企業等では取組みにくい分野であるため、区の文化振興のためにも行政が支援していく必要がある。					
	効率性	3	芸術文化支援制度は、台東区アートアドバイザーが専門的見地に基づき、企画内容・収支計画・芸術家等の実績等を精査するなど、効率的に実施している。					
	手段の適切性	3	芸術文化支援制度は、台東区アートアドバイザーの専門的見地に基づいた助言・支援をもとに実施されており、芸術家への育成・支援について適切な体制を整えている。					
	目的達成度	3	平成28年は現代美術・俳句・演劇など幅広いジャンルの6企画を支援・実施することで、新たな芸術文化に触れる機会の提供に寄与した。また、区内の芸術文化施設の情報をまとめたサイトを開設することで活動の場や発表の機会を求める芸術家等への支援を図った。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
先駆的な芸術文化活動を行う芸術家等への支援・育成を目的に実施している芸術文化支援制度は、区の文化力の更なる向上を図るためにも継続していくことが重要である。また、新たな支援・育成策として、28年度に開設したウェブサイトによる情報発信以外の方法についても、引き続き検討していく。					維持			